

1. 件名：「島根原子力発電所 2 号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(153)」

2. 日時：令和 3 年 3 月 22 日（月） 14 時 20 分～ 15 時 40 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、松末技術参与

中国電力株式会社：山田常務執行役員 他 17 名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年 3 月 22 日（第 152 回ヒアリング）に受取済み>>

- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 新規制基準適合性に係る審査を踏まえた検討・反映事項について
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺陸域の地質・地質構造）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺陸域の地質・地質構造）（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地の地形，地質・地質構造）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地の地形，地質・地質構造）（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 津波評価について

- ・ 島根原子力発電所 2号炉 津波評価について（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について
- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について（補足説明）

<<本年3月18日に受取済み>>

- ・ 島根原子力発電所 基準地震動の策定について
- ・ 島根原子力発電所 基準地震動の策定について（補足説明資料）

| 時間      | 自動文字起こし結果  |
|---------|--|
| 0:00:02 | 原子力規制庁クマガエです。それでは、これから島根原子力発電所のヒアリングを始めたいと思います。よろしくお願いいたします。   |
| 0:00:12 | はい、中国電力カシマです。それではまず津波の変更内容について説明引き続いて、陸域、海域火山の中にですね、続けて御説明させていただきたいと思います。それでは説明のほう担当者の方が変わります。             |
| 0:00:28 | 中国電力のセイキです。津浪の資料について説明させていただきます。右肩資料 1P047 回さんも資料を用いて本編資料を用いて説明させていただきます。                                  |
| 0:00:44 | 同じ   |
| 0:00:45 | 失礼いたしました。EP74 回さんの資料を用いて説明させていただきます。   |
| 0:00:53 | まず 1 ページ目をお願いいたします。  |
| 0:00:56 | こちらの方、前回マスキングがかかった資料となっておりますが、情報量のほうを精査いたしまして、評価地点を日持ったような資料としましてマスキングのほうを外しております。また下の箱書きですが、評価地点としまして、    |
| 0:01:12 | 上昇側では施設護岸または防波壁下降側では取水口につきましては、どちらを基本とすることを書いております。8 下の箱書きの最後、三つ目のポツですが、波源選定において評価地点は上記を基本とするが、            |
| 0:01:28 | 取水槽についても確認する旨を記載しております。  |
| 0:01:33 | こちらのほう修正しております。7 ページをお願いいたします。   |
| 0:01:41 | こちらの方、申請からの主な変更内容を記載したページでございます。   |
| 0:01:45 | 表の中段と下段につきまして防波堤の影響検討津波堆積物調査、こちらが前回ご確認いただいた際は、申請時の評価がパーツとなっております津波堆積物調査につきましては、                            |
| 0:02:01 | まず所中段の絵防波堤の影響検討につきましては、申請時の評価としまして、日本海等MIに想定される地震による津波の波源を遠方に位置するため、地震による防波堤の損傷はないと評価したということに記載させていただきました。 |
| 0:02:17 | また、申請後の検討反映事項のところでは考え方の変更記載するという点をさせていただきます。   |
| 0:02:24 | 1、一つ目のポツとして防波堤は敷地周辺の支援津波により損傷する可能性は否定できないことから、防波堤が損傷した後に津波が発生することも考慮しということを追記修正しております。                     |
| 0:02:38 | また、下の表です、津波堆積物調査についてですね、こちら申請時の評価として文献調査の結果、敷地近傍に影響のある津波堆積物は認められなかったといった評価を記載しております。                       |

|         |  |
|---------|--|
| 0:02:51 | 申請後の検討反映事項としまして、申請以降の知見を踏まえ、資金の山陰地方における津波堆積物に関する文献調査及び地質調査を実施した上でといったことで、変更点のほうを記載させていただいております。              |
| 0:03:06 | 続きまして、220 ページをお願いいたします。  |
| 0:03:20 | こちら陸上地すべりのまとめのページを記載しております陸上地すべりにつきましては、複数手法としまして、二相流モデルによる手法とHuberによる予測式ということで、二つの手法を行っております。そのことを          |
| 0:03:36 | 明記するというので、   |
| 0:03:39 | 上の表のほうに上昇側につきまして二相流モデルとHuberの予測式を比較し移送流モデルが厳しいことを  |
| 0:03:48 | 明示しているような資料と修正させていただきました。  |
| 0:03:52 | 津波の資料を主な修正点は   |
| 0:03:55 | 以上のところです。  |
| 0:03:56 | お願いします。  |
| 0:04:02 | 中国人力のイマムラです。続きまして広域する陸域の設備を本編資料の説明をさせていただきます。まず資料といたしまして、EP070 回 03 の本編資料及びEP070 を                           |
| 0:04:17 | 下位 02 の補足説明資料のほうに資料が陸域資料になります。   |
| 0:04:24 | 本編資料の 070 回 03 の資料を使って説明いたします。   |
| 0:04:29 | 陸域資料につきましては、前回ヒアリングかの資料の選定の構成の変更点について御説明いたします。まず、前回、本編資料に宍道断層、特に西端女島及び東端の日本の美保関町東方沖合についてののみ掲載させていただいておりましたが、 |
| 0:04:47 | 西端及び東端を決めるに至った各調査結果については、本編資料に移動させております。   |
| 0:04:53 | また 1 ページ及び 2 ページ目の概要に記載されている各断層についての調査結果を本編資料に同土、概要の結果を本編資料で網羅できるように再構成いたしました。                               |
| 0:05:04 | 続いて、3 ページ目の新生児科の主な変更点変更内容を示した表の記載内容については修文を行っております。続いて 8 ページ目の目次をご参照ください。                                    |
| 0:05:17 | こちらの目次で前回補足説明にいらっしゃったものをホームページに写したもののとして、3 宍道断層の評価のうち(3)地質調査宍道断層西側につきまして、②の南講武、これにつきましては、                    |

|         |   |
|---------|---|
| 0:05:33 | 後期更新世以降の活動が認められる地点としまして、南講武本編に移動させております。また、③から⑥については前回補足説明に移しておりましたが、それをまた  |
| 0:05:45 | 西端のちょ西端大きめに至ったちょっと各調査結果になりますので、こちらを本編にまたいろいろさせております。  |
| 0:05:52 | 続きまして、9 ページ目を御参照ください。   |
| 0:05:56 | こちらにつきましても、三番の(4)地質調査宍道断層の東側といたしまして、前回は美保関町東方系の調査結果のみ示しておりましたが、②と③下宇部尾付近へ及び森山付近の調査結果を本編に移動させております。                                |
| 0:06:13 | また 4 個新規としまして新規というよりは、前回、三番の中に宍道断層と鳥取沖整備断層の連動評価を含めておりましたが、別項目を分けて 4、4 個、4 の項目に宍道断層と鳥取沖整備断層の連動評価を分けて評価しております。                      |
| 0:06:31 | またこの連動評価につきましては、前回の資料 2 ページの概要資料のみを掲載しておりましたが、こちらにつきましても補足説明資料から概要の説明資料達して本編のほうに移動させていただいております。                                   |
| 0:06:46 | 次の 5 から 6 につきましては、補足説明資料にありました。10 ページ目の目次の 5 及び 6 につきましては、宍道断層以外の各断層各断層につきまして、本編に移動させております、陸域の設定、説明は以上になります。                      |
| 0:07:04 | 続きまして、  |
| 0:07:06 | 会期  |
| 0:07:08 | 会期資料の御説明をさせていただきます。   |
| 0:07:12 | 会期の資料につきましては、   |
| 0:07:15 | EP072 回 02 の本編資料のみとなります。  |
| 0:07:23 | 大気試料につきましても、会議の資料構成との整合性を図るために、1 ページ及び 2 ページ目の概要に示される評価結果を本編資料で網羅できるように、前回のヒアリングで補足説明にしていましておりました資料を                              |
| 0:07:38 | 本編に移動したことから、今回は本編資料のみの構成となっております。   |
| 0:07:43 | 続きまして、営利海域の 3 から 5 ページ目に示しております。新生児科の変更点の内容に関しましては、先週の 3 月 18 日のヒアリングの結果を踏まえまして、こちらの資料につきましてもちょっと反映はさせていただいておりませんが、審査会合資料につきましても、 |
| 0:08:01 | 修文を行ったものを掲載させていただきたいと思っております。続きまして、火山の  |
| 0:08:07 | 説明に移らせていただきます。火山につきましても、  |
| 0:08:13 | EP079 回 02 の本編資料及び補足説明資料といたしまして、Pd079 を買いゼロに人資料となっております。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:08:26 | 火山の主な変更点としましては、   |
| 0:08:30 | 本編資料の   |
| 0:08:32 | 80 ページ目を御参照ください。  |
| 0:08:39 | 火山の本編の 80 ページ目には、前回コメントありました。三瓶山の噴火規模の想定といたしまして、うん何を採用しなかった理由といたしまして黄色枠で示しております 2 ポツ目。                        |
| 0:08:52 | なりますが、2 ポツ目に 3 秒オダは火砕物密度流主体の噴火であること。  |
| 0:08:59 | から前述の通り、設計対応不可能な火山事象伴う火山活動として評価します。なお、3 秒だと同時期の降下火砕物される 3 弁なんてぐらは、その分布範囲及び購買層圧を踏まえると、恵山で機能的ウランの噴出量は変わるものではない。 |
| 0:09:16 | 考えられるという記載を追加させていただく。これをもってASPを除いて、   |
| 0:09:22 | 杵築降下軽石の扶助除いて、降下火砕物の噴出量が最大である駅の降下火砕物を考慮するっていう  |
| 0:09:30 | という構成に見直しております火山の修正については以上になります。  |
| 0:09:36 | 説明は以上です。  |
| 0:09:41 | 御説明ありがとうございました成長クマガエです。   |
| 0:09:44 | それでは、一つ一つですねちょっとコメントのほうをさせていただこうと思います。  |
| 0:10:19 | 規制庁タニです。今回 1 ページ、津波ですね、津波の本編の資料の 1 ページで   |
| 0:10:27 | 評価地点のことをネットマ考慮するって書いてあったの。  |
| 0:10:33 | もちゃんと書いてくれて、  |
| 0:10:37 | 上昇側は地方水道下降側 2 号炉の取水槽を評価地点とするっていうのと書かれてるんですけど。   |
| 0:10:47 | すみませんなんか効率こういう細かいことを言うんですけど、16 ページとかって、   |
| 0:10:53 | なんかそう書くと、16 ページ。  |
| 0:10:58 | 対象外とすることから、   |
| 0:11:01 | 16 ページの上から三つ目ですね。   |
| 0:11:05 | 上昇側の評価地点を   |
| 0:11:08 | 施設護岸または防波壁のみとするとかいうのもちょっと何かすいませんこれ何か。   |
| 0:11:15 | 重箱の隅をつくようなんですけど。  |
| 0:11:19 | 正しく書いたらどうなるのかなっていうのはちょっと思ったのと、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:11:23 | それはあれですかね、16 ページのほうもなんか   |
| 0:11:27 | 今後、   |
| 0:11:28 | 変えたほうがいいのかありますか。  |
| 0:11:34 | 中国電力のセイキです。注 6 ページにつきましては、  |
| 0:11:40 | こののみとするという表現は確かにこういった記載でなくても表現できるところかと思えます。こちらでも言いたいところは 1 号放水も連絡通路防波扉こちらを含めないことにしたということで、                                  |
| 0:11:55 | ございまして、その結果として施設護岸または防波壁域が上昇側の評価地点となっているってことですので、少し今後修文させていただきたいと思えます。以上です。   |
| 0:12:08 | はい、規制庁タニです。そうですね、ちょっとその辺の   |
| 0:12:11 | 記載の方法考えてもらったらと思えます。   |
| 0:12:15 | あとですね、ちょっとこれ確認なんですけど 12 ページで、   |
| 0:12:20 | 防波堤ありケースなしケースの話してるんですけども、   |
| 0:12:24 | これやっぱり最後のポツで書いてるのは良いよ、要するに、   |
| 0:12:29 | 最後のポツはパラメータスタディの結果防波堤ありケースと異なる波源による評価水位が最大を示した場合には、その波源を基準津波の策定に反映したって書いてあるんですけど、ここはこれで簡単に言うと、                              |
| 0:12:47 | もう両方振っちゃったようになる派遣を選んでもらうんですけどよっていいんですよね。  |
| 0:12:55 | 中国電力のセイキです。タニさんおっしゃっていただきました通り両方チャンピオンとなるケースを選んでおります。特に防波堤あり形成先に選んだということの流れとしてはそういったことをやっていますが、ここで記載しなくても両方CAM Pを選んでおりますので、 |
| 0:13:11 | こちらのほうも記載を修文させていただきたいと思えます。以上です。とりあえず介護は修文しなくていいんですけどね、あとは、私のほうをちょっと気になったのが地すべりの、これ資料。                                      |
| 0:13:25 | 見てて思ったんですけど。  |
| 0:13:28 | 陸上地すべりの、  |
| 0:13:30 | 二相流のパラメーターとかって、   |
| 0:13:34 | どっか載ってますかねなんか私パート探してたら、   |
| 0:13:38 | 今日見当たらなかった気がするんですけど。  |
| 0:13:42 | どっかあったらそのページ教えてください。  |
| 0:13:46 | 中国電力のセイキです。探しますので少々お時間ください。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:14:26 | 規制庁ナイトウですけれども、刀禰評価点をどこに設けるのか、どういう考えてるところに設けるのかってのは、結局、書いてあるんですか。                       |
| 0:14:40 | 中国電力のセイキです。評価点につきましてはですね、1 ページ目のところに記載しております。  |
| 0:14:50 | 1 ページ目のところですね施設上昇側につきましては施設護岸防波壁下降側につきましては、取水口を基本とするということを伝えさせていただいております、またそれこそ1 ページ目の |
| 0:15:05 | 下の箱書きの三つ目のポツですが、そちらを基本としますが、取水槽につきましても、  |
| 0:15:12 | ドライサイトA取水性の観点から確認する旨を取水槽でも確認するルール旨を記載しております。以上です。                                      |
| 0:15:23 | 規制庁ナイトウですけれども、ね、   |
| 0:15:32 | 施設護岸とするとした上で、施設護岸で最高水位出たやつはすべて対象するとすると、すべてがその高さでっていうふうに整理したんだよね、その話ってどっかに書いてあります。      |
| 0:16:01 | 中国電力のセイキです。そっ  |
| 0:16:05 | そちらですね施設護岸または防波壁でたかったものを施設護岸防波壁全部にそのあたりを展開するといった議論の入力津波のほうでさせていただいた議論と認識しておりますこちらの方には、 |
| 0:16:20 | 今の資料としてはそちらの記載はできておりません。以上です。  |
| 0:16:30 | 京急ナイトウですけれども、これって入力津波の話でなくて、当初、  |
| 0:16:36 | 中国電力は場所によって評価をしてという形にしたのを、   |
| 0:16:43 | 全部を通して高い点を評価点とするから、当評価点としては、防潮で全体です。   |
| 0:16:54 | としたんじゃないんですたっけ。  |
| 0:17:07 | 中国電力のセイキです。今ナイトウさんがおっしゃっていただきました通り、最も高い点を評価値、すべての施設護岸または防波壁に適用するということで、中国電力の評価としております。 |
| 0:17:23 | すみません、流れとしまして、入力津波のところできーん、そういう話が先に出たかと思ひ、少し欠けていないというふうなところなんです。パッケージそちらがわかるように、       |
| 0:17:35 | ごめんね、入力津波の話じゃないですよ、当初、護岸部のやつって区域分けをしていたんじゃないかなって思っただけです。                               |
| 0:17:45 | それを1Eと全部投資にしたっていうふうに変えたというふうには   |
| 0:17:50 | 認識してるんだけどそういう違いがありましたっけ。   |



|         |  |
|---------|--|
| 0:17:53 | いや、中国電力シミズです。今はセイキが言った通りですね、その議論については入力津波の議論の中で石渡委員にも入っていただいていますね0なの                                     |
| 0:18:08 | 檀尾の関係とか小委の関係とか整理していく中でですね、同作ナイトウさんとかにも入っていただいて審査していますのでそれは入力津波側での議論で蜜にバック防波壁のなんかすいません話題にはの中を上げてやったのはですね。 |
| 0:18:25 | 入力津波側での議論なので我々としては基準津波の時には最大指定を取るという行為だけをしてですねそれをどう施設に反映するかという入力津波側のときにそういう議論をさせていただきました。以上です。           |
| 0:18:49 | 規制庁のですけど、評価点を分割してたんじゃないんですたっけ。   |
| 0:18:57 | 評価点とか評価。   |
| 0:19:00 | 一応、  |
| 0:19:04 | 今は1本になってるけど、当初分割したんじゃないんですたっけ。   |
| 0:19:08 | 中国電力シミズです。それもですね当初やってたのは入力津波の防波壁の設計を考える上で名と湾の中と外で分けてたとかいろいろと場所を分けたっていうのは入力津波での議論です。以上です。                 |
| 0:19:26 | 時的なのですけど、資料再確認してみるけれども評価。  |
| 0:19:35 | この防潮定のところのやつについては評価1E. は、  |
| 0:19:40 | 分けていなかったと全部最初から一律で全部という形で設定をしてたっていう、そういうことでいいですね。  |
| 0:19:49 | 中国電力シミズです。私らの確認していますけど基準津波での議論というのは、全体で確認していたという考え方です以上です。規制庁基準津波と入力津波じゃなくて、評価地点の考え方で聞いている。              |
| 0:20:06 | 中国電力シミズです評価地点としてご案全体で最大がどこかということを確認、基準津波の中ではしております。  |
| 0:20:37 | 既設のナイトウです。そうするとね、補足説明の10ページっていうのはこれ何に使ってるんです。  |
| 0:20:51 | 中国電力のツボタです。  |
| 0:20:56 | 当初は基準津波を設定するときは、さっき清水が言ったように全体を見て基準津波のCAMPを決めてました。で、入力津波の段階で、この10ページの資料になるのですけど、当初我々が考えたのは、そこでその一基であろう。  |
| 0:21:15 | 推移を施設の構造物の   |
| 0:21:20 | 続いとして与えようとしてたんですけど、それは流力津波の議論でMAXの一番高い値でそこも与えるべきということで、考え方を変えたというような流れだったと考えております。                       |

|         |  |
|---------|--|
| 0:21:37 | 規制庁のですけど、これを通して基準津波の評価点の考え方について書いてないんだったらこれって、   |
| 0:21:45 | 要らないですよ。   |
| 0:21:47 | いるんですか。  |
| 0:21:52 | そうですねそういう考えであれば必要ないというふうに考えております基準津波の考え方としては従来からすべての外郭防護である施設をまたは防波壁で最大のチャンピオンで評価を行っておりましたと。                                   |
| 0:22:09 | ということでその考え方については変えておりません。  |
| 0:22:28 | 刀禰桐島ナイトウですけれども、高とね、当時の議論としてあったのはどこからそれぞれのところの高さでやりますという話になって入力側でやっているからであれば、それぞれの地点のところの最高水位できるやつを探さなきゃいけないんじゃないんですかっていう議論をして、 |
| 0:22:46 | いや、そういうことではなくって一番高いやつが出るやつを探した上で、西縁の中で、それをすべてのところに適用しますっていうふうに変えたんじゃないんです。   |
| 0:23:01 | 中部電力シミズです。ナイトウさんおっしゃる通りなので、先ほどの所則ペーパー補足資料のページが10ページは来屋外排水の位置がここにありますがと言うだけですこれですべて分けて考えますというようなものじゃないので。                       |
| 0:23:18 | 誤解を与えるような資料なのでこれはとりたいと思います。以上です。   |
| 0:23:46 | 規制庁の伊藤です。別の話でねってこれ1号の放水港湾のほうのやつを外したから数値が戻りますという形で単純に書きちゃっているんだけれども、  |
| 0:23:59 | 1号側がところが幾つと。   |
| 0:24:03 | それ以外のところで最高点が幾つですっていうところはどっかで参照できるようになってます。  |
| 0:24:22 | 中国電力のセイキです。  |
| 0:24:25 | 今おっしゃっていただいた変更のところがですね17ページから  |
| 0:24:30 | 21ページ、20ページまでのところで記載をしておりますので、1号がですね、評価点がなくなったことで変更になったところにつきまして、その中で  |
| 0:24:44 | 18ページ、19ページというところに出てきておまして、赤の枠囲みで記載をしております。  |
| 0:24:52 | 以上です。  |
| 0:24:56 | 規制庁ナイトウですけれども、なので、   |
| 0:25:00 | 1号側が幾つで1号外したやつが幾つであるから、一部を外した結果としてこの数字ですっていうのがどっかで見れるようになってますって聞いてるんですけど。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:25:19 | 中国電力のツボタです。  |
| 0:25:22 | 18 ページをちょっと見ていただいて御説明をさせてもらおうと思います。例えばここ、  |
| 0:25:31 | 国交省内閣府文部科学省 2014 に基づく検討ということで、四角で全部を囲っておりますけど、そのうちの少しちょっと説明がわかりにくいようにはなってるんですけど、1 号放水を入れた検討というものが買っ        |
| 0:25:48 | これ書いてるものが、その時の辺りなっております、例えばF24 断層が減らさって 8 ということで、今回その一文放水の所外すことによって元に戻ったということで、F28 断層の施設護岸または防波壁で+3.6 名だと。 |
| 0:26:07 | いうことでちょっとあくまで評価地点の変更を伴う変更箇所としかちょっと記載をしておりますので、もう少しちょっと説明をちょっと※で追加するなり、ちょっとすれば、それは覚えるというふうに考えております。         |
| 0:26:24 | 規制庁の内藤です。そうすると利根後ろのほうで水位上昇のやつコンターてってるけどそれで最高水位点で幾つかっていうところは追えるようになってます。                                    |
| 0:26:40 | 中国電力のツボタです。最終的なところでいます通り 11 ページに正常層があるまとめを記載をしているんですけど、この時点では結局 1 号放水を入れようがいればいいが、当たりとしては変わっておりませんので、      |
| 0:26:57 | 従来から同じものが最大になってましたというような結果となっております。  |
| 0:27:11 | 規制庁トレン結果じゃなくって結果行き着く過程のところまで 1 号のところ外すことによって、ちゃんと  |
| 0:27:21 | 選定できてますってということがいるようになってないといけないんだけど、変更しているから、   |
| 0:27:27 | そこはどこ見れんですか。   |
| 0:27:49 | 中国電力のツボタです。この今回の本資料補足資料ではやっぱりそこはちょっと資料をつけておりませんが昔の資料で見て、昔の資料、例えば追加するかそういうことをすれば、                           |
| 0:28:05 | そこはoilというふうに考えております。   |
| 0:28:20 | ちょっともうそのときの資料も、  |
| 0:28:24 | いうことをきちっとナイトウズ現状入ってないっていうのはわかりました。   |
| 0:28:29 | ちょっと準備、  |
| 0:28:32 | そんな大したあれじゃない。  |
| 0:28:34 | 直すと、   |
| 0:30:10 | 中国電力のセイキですすみません先ほどのコメントの回答できておりませんでしたの陸上地すべりの 2 層流モデルのパラメータがどちらに記載してあるかっ                                   |

|         |  |
|---------|--|
|         | ていうことの回答させていただきたいと思います。200 ページのほうに記載しております。  |
| 0:30:26 | 海底地すべりのパラメーターということで記載しております、陸上地すべりと海底地すべり同じものを使っておりますので改定説明の方のみに記載しております。こちらのほう陸路実例でも同じものを使っているということがちょっと記載できておりませんので、今後 |
| 0:30:43 | 記載させていただきたいと思います。以上です。   |
| 0:30:48 | はい谷です。事実関係を確認できました。  |
| 0:32:00 | 規制庁タニです。あとですね、ちょっと時間があつたんで   |
| 0:32:05 | 前 2。   |
| 0:32:08 | 陸上地すべりをなんか今御社のやってる   |
| 0:32:13 | Huberの白亜と二相流ですか。   |
| 0:32:18 | この二つをやってる他のサイトも見てそうそういうサイトがあるんだっていう話だったんですけど、すみません私あんまりこ時間確認する時間がなくて、そのほかのサイトって具体的には、                                    |
| 0:32:32 | どちらのこと言われてたんでしたっけ。   |
| 0:32:41 | 中国電力シミズです。他のサイトは二相流と不安の幅でやっているというよりはですね他のサイトいろいろやり方がいろんな種類のものでやっているということをお示ししちょっと今の段階でどこが二相流どこ剥でやってるかというのは、              |
| 0:32:58 | ちょっとハーグできてないです。  |
| 0:33:04 | 承知少々お待ちくださいちょっとあのハーグで来てみたいなんでしばらくお待ちください。  |
| 0:33:15 | 中国電力のツボタです。ですね、柏崎がですね、陸上地すべりで、   |
| 0:33:25 | 主方位一つとしてうちと同じようにHuberを使っておりますそれと   |
| 0:33:31 | ／のかしらだけもう一つの手法としては二相流モデルなんですけど、少しTITANとかも組み合わせたような形で課長だけがやられておりますが、概ねうちと同じようにHuberと二相流モデルの二つでかさだけはやっております。               |
| 0:34:11 | はい。わかりました。   |
| 0:34:14 | ちなみに柏崎は、補足の中に、Wattsもう  |
| 0:34:19 | 見ているっていうのがあるはずなので、ちょっと   |
| 0:34:24 | その辺も確認いただけたらと思います。   |
| 0:34:33 | はい、中国電力のツボタです。   |
| 0:34:35 | はい、確認をちょっとしてみようと思います。ちなみにわつと海底地すべりルールをかさだけはやってたようにはちょっと強行してるんですけど。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:34:49 | そうですよ。改定では二相流等はつかないんで、陸上もこれ多分補足に入ってたんじゃないかと思うんですけど、ワッツも使ってるはずなので、  |
| 0:35:01 | 参考としてですね。  |
| 0:35:05 | はい。ちょっと確認させていただこうと思っております。はい。  |
| 0:35:28 | はい、規制庁の後ですけれども、確認なんだけど、えーとね。   |
| 0:35:36 | 日本海等縁部棟近傍の海域とってということで、2 領域に分けますっていうのはいいんだけど、山本堆の影響というのは、当初事業者さ事業者の検討に入ってたんですけど。                            |
| 0:35:54 | はい、中国電力のツボタで政党や跨いについても山一帯の検討としては、補足資料のほうに店舗をしております、39 ページから 48 ページまで補足資料、                                  |
| 0:36:12 | 当初の申請の時はすみませんやめたら検討しておりませんでした。   |
| 0:36:23 | 確認ですけども、概要説明のときに、  |
| 0:36:28 | 言ってるそれでやったっていうことでしたっけ。   |
| 0:36:34 | 中国電力の清水です。申請当時はですね山本耐IAというキーワードでですねそういう御説明はしておりませんが当時からですねと、日本海等縁部の鳥取の津波とか大きくなるという背景にはですねそういったものがあるということは、 |
| 0:36:53 | 理解してまして、それを申請の概要のときにですね規制庁さん側からそういう山本他への影響もあるので、幅広に検討してみてくださいというコメントを受けて連動、                                |
| 0:37:09 | 等の検討したという実態でございます。以上です。  |
| 0:37:17 | 規制庁ナイトウですけれども、資料見ればいいのか教えてくださいってこれ配当側から山本対応回り込んでっていうのは逆解析をやったんですけど。  |
| 0:37:30 | 中国電力シミズです。ちょっとやっていますけど、何ページか探しますので少々お待ちください。   |
| 0:37:58 | 中国電力のツボタです。補足資料の 411 ページからその資料をつけさせていただいております。   |
| 0:38:21 | 規制庁の伊藤さんありがとうございます。ちょっと記憶はあまり私も定かじゃなくなかったので確認だけ逆再解析をやって、どの辺に高い色が行くのかと見た上で、それをちゃんと包含できるように、                 |
| 0:38:36 | 包含というかその範囲を  |
| 0:38:38 | カバーできるように、日本海等塩分の  |
| 0:38:42 | シミュレーション。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:38:44 | 結構使命シオンだ 2 やIAEA等シミズ使用時に振ったっていいんですよ。  |
| 0:38:52 | 中国電力シミズです。しばらくお待ちくださいあの当時の経緯がわかる資料逆解析というよりはですね、ちょっと資料で説明したほうがいいのでしばらくお待ちください。   |
| 0:39:08 | 中国電力のツボタです。補足資料の 103 ページ辺りをちょっと見ていただけたらと思ってます。  |
| 0:39:21 | 103 ページ目に日本回頭円からどういように、島根のサイトに向かうかっていうのを 104 ページから土木学会の領域を少しずつずらして行って、どの辺りが一番厳しいかというような検討を行っております。                                  |
| 0:39:39 | その資料が 104 ページから 107 ページ、0 記載をさせていただいております、107 ページですかね。ここで破った読ま大きく回り込んで豊島のほうに波が集中するというようなことを御説明させていただいております。                         |
| 0:40:30 | 中国電力シミズですちょっと補足しますとその辺を求めたのがですね 97 ページ本編の 97 ページです。   |
| 0:40:41 | ちょっと見ていただけますか。  |
| 0:40:44 | 先ほどツボタが言ったようにとかくこれ土木学会の各領域ごとにですね公開カラフルに色をつけておりますけどその影響を見た見ようとしているはずで、98 ページにですねそれぞれの領域ごとにですね。                                       |
| 0:41:01 | 敷地でどのぐらいの高さになるかというのを数字のほうで表で書いておりますけど、下の下四つAとEというスリーそれから湾の 9 番領域、左側の絵でいきますとですね、下のほうの南側のほうの数敷地に津波の影響は大きい範囲ということで赤赤矢印が書いてあると。         |
| 0:41:21 | これですね、この辺りがですね地基地への大きいということがありましたので、この領域をですね 99 ページの方見ていただきますと、包含するようになりますねこの 2 領域を含めて 350kmというのを設定して、                              |
| 0:41:38 | 科学的想像力を発揮した検討ということで検討しているものです。  |
| 0:41:44 | Yamamoto対応の検討につきましてはこういったものをそれから先ほどナイトウさんおっしゃられたような逆解析的なものもしてですねちょっとその量の検討ではこの位置が高いというところまでは具体的な場所までとっておりませんけれども、この 99 ページの資料等でですね。 |
| 0:42:01 | 津波が敷地に影響を与えるところが大きいところを検討した上でですね、以降の検討実施しております。以上です。  |
| 0:43:17 | 規制庁サグチですけども、ちょっと  |
| 0:43:20 | 教えていただきたいんですけど。   |
| 0:43:26 | 全体の   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:43:28 | フロー図が、   |
| 0:43:29 | 最初のほうに、  |
| 0:43:31 | あって、例えば2ページでも、   |
| 0:43:34 | いいんですけども、  |
| 0:43:36 | 一番ちょっとお聞きしたいのが、  |
| 0:43:39 | 行政機関による津波評価っていうのが、   |
| 0:43:43 | 国産3も4章ですかね。  |
| 0:43:45 | 今幾つかあると思うんですけど。  |
| 0:43:47 | これのちょっと位置付け、   |
| 0:43:50 | 今多分、2ページとかもその検討フローだと比較分析   |
| 0:43:56 | という形でされていて、多分御社が独自に  |
| 0:44:05 | いろいろこうやった津波評価に対して、それより大きかったらちょっと基準津波<br>策定のところに黄土しましょうとかそういう           |
| 0:44:15 | 流れだったと思うんですけど。   |
| 0:44:20 | この位置付けですよ、要は、よく他の  |
| 0:44:26 | 会社にも聞くんですけども、  |
| 0:44:30 | いわゆる御社の  |
| 0:44:32 | 検討する。  |
| 0:44:35 | モデルというか、そういった中に取り込むのか、それともあくまでもこれは行政<br>機関による津波評価なので、それとはちょっと別に、       |
| 0:44:48 | やった上で、   |
| 0:44:49 | 実際に  |
| 0:44:51 | 御社が検討したものの、今ここに書かれているような比較を分析して、                                       |
| 0:44:57 | 基準津波の策定のときに、   |
| 0:44:59 | それは考慮するものかしないものかと。   |
| 0:45:02 | いうところで基準津波策定に反映させるのかっていう。ちょっとその  |
| 0:45:09 | 考え方をもう1回ちょっと教えていただけますでしょうか。  |
| 0:45:14 | 中国電力のセイキです。66ページをお願いいたします。   |
| 0:45:19 | じゃあの日本海等縁部に想定される地震による津波のフローの詳細を記載し<br>たものでございます。                       |
| 0:45:28 | 今、   |
| 0:45:29 | サグチさんにおっしゃっていただきました通りですね、弊社で行いました。検討<br>をまで行ってございましてそれが赤の四角で記載されております。 |

|         |  |
|---------|--|
| 0:45:44 | そちらとはですね、そちらのモデルの中に行政機関取り込むっていうものではないかと、こちらとは別に青の破線で書いております。行政機関等が実施する波源モデルにつきまして、こちらを                       |
| 0:46:00 | 行政機関が行っているようなものを行いまして、当社が想定したものとを比較を行ったという位置付けでございます。比較を行いました結果鳥取県のもので大きい方ということでそちらのほうへ基準津波のほうに考慮しているという     |
| 0:46:18 | 実態です。以上です。   |
| 0:46:22 | はい、サグチですけども、   |
| 0:46:24 | そういうことなんですけれども、ちょっとさらにお聞きしたいのは、  |
| 0:46:33 | 他の他社さんでもそうなんですけど、結局、行政期間も津波評価と言いつつ   |
| 0:46:43 | パラメータスタディをされているものが幾つかあると思うんですけど。   |
| 0:46:49 | これは  |
| 0:46:51 | 例えばその行政機関の評価の中でもパラメータスタディなんか行っているから、それを踏襲してやっているのか、それとも、これはちょっと影響が大きいんじゃないかと、これはよくわからないパラメータだからということで御社の考えで、 |
| 0:47:10 | 不確かさみたいなもの考えてパラメータスタディを行っているのかちょっとどちらなのかちょっと   |
| 0:47:19 | 教えていただけますでしょうか。  |
| 0:47:25 | はい、中国電力のツボタです。基本自治体とかの津波についてはそこで出てくるモデルについて、我々、そのモデルを対象に検討を行っております。  |
| 0:47:39 | 以前日本海等Mの関係で、特に鳥取県が基準津波をなってるというところもありまして、それについては補足説明資料のほうに、その当時のコメント回答資料の                                     |
| 0:47:55 | 内容もう店舗をさせていただいております。   |
| 0:48:03 | はいサグチです。ちょっと詳しいところはもちろん見てみますけれども、あと今どうもなんか日本海等縁部っていうお話だったんですけど、むしろ海域の活断層っていうのも当然行政機関で出ていって、                  |
| 0:48:16 | で、海域の活断層についてもですね、いくつか国交省なり、いろいろあると思うんですけど、その中で、多分を滑り域の位置とかは何かちょっと不振るのか何か降ったりしているのか。                          |
| 0:48:33 | どうか。   |
| 0:48:34 | で、パラメータスタディやってるんですけど、これは御社独自の判断なのかいやもともと国交省でこういう   |



|         |   |
|---------|---|
| 0:48:43 | NRとか何かいろいろありますよねすべきっていうケースが幾つもあるんで、それについてすべてやっただけですというのか。   |
| 0:48:52 | ちょっとその辺りのことと、あと、  |
| 0:48:56 | いろいろ不確かさの中ですべてD   |
| 0:49:00 | だけしかやっていないもの。   |
| 0:49:03 | 例えば、  |
| 0:49:07 | 滑り量なんだけ、滑り角、  |
| 0:49:11 | とか、もうちょっと何か滑り機器以外のものについても／蓋をしているようなものがあるんですけど、そこはどういう考えてされたのかというのと、そのパラスタをする項目項目の抽出っていうのはどういう考えでされているのかちょっと教えてください。 |
| 0:49:32 | はい、中国電力のツボタです。基本うちの方で独自に自治体津波をパラスタで、不確かさを考慮しているということではございません。基本は興産さんがやられているパラスタをすべてのケース遠いやや                         |
| 0:49:50 | うちにも影響があるかどうかといった観点で検討を行っております。   |
| 0:49:56 | 以上です。   |
| 0:49:59 | はい、サグチです。ありがとうございますということは基本的にはそういった行政機関が出されている波源モデルとで、その中でパラスタメールをしているものについては少なくともそれを踏襲して、                          |
| 0:50:16 | やっているだけで、少なくとも御社がいろいろ行政機関が出している波源モデルのパラメーターをいじるというのか、ちょっと変えとか、そういうことをされていないという理解でよろしいですね。                           |
| 0:50:32 | はい、中国電力のツボタその通りでございます。はい、その解釈でいいと思います。  |
| 0:50:39 | 昨日、わかりました。ありがとうございます。   |
| 0:52:31 | 規制庁クマガエです。  |
| 0:52:33 | ちょっと津浪が一旦後程またあるかもしれませんが、ひとまず  |
| 0:52:39 | 終わらせて、次種々周辺について確認をしていきたいと思っております。   |
| 0:52:52 | 規制庁のカイダですと敷地周辺陸域のほうで、   |
| 0:52:57 | ちょっと確認資料の中で確認をしたいと思っております。  |
| 0:53:03 | ちょっと100 今回の東端西端をちょっと考え方をどういうふうにして、  |
| 0:53:11 | だというその評価のいたずら過程も含めてという資料をちょっと   |
| 0:53:16 | 補足のほうから本編のほうにお聞きしたというところが大きな修正点かなと思っております。  |
| 0:53:22 | 149 ページに東端の評価の全体像というのか、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:53:28 | 導入部分がありますが、  |
| 0:53:32 | ちょっとこの   |
| 0:53:36 | ところで確認させてください。当社調査っていうところの   |
| 0:53:40 | 2 ポツ目ですけれども、   |
| 0:53:44 | 変動地形学的調査の結果、   |
| 0:53:48 | 下宇部尾以東では南講武付近と比べて断層活動が低下していると。   |
| 0:53:54 | というのが書いてありまして、   |
| 0:53:56 | これ   |
| 0:53:58 | 東のほうに行けば行くほど、  |
| 0:54:01 | 活動性が低下してるっていうことは書いてあるかなと思うんですが、これは変動ここに変動地形学的調査の結果という                                |
| 0:54:11 | ことで変動地形学的観点でということで、  |
| 0:54:15 | ここに書いてある通りでよろしいでしょうか。確認なんですけれども、   |
| 0:54:32 | 中国電力の今村です。   |
| 0:54:36 | おっしゃる通り、変動   |
| 0:54:39 | 地形学的に順で、   |
| 0:54:41 | 進めらも 105、  |
| 0:54:44 | 以上   |
| 0:54:47 | その通りでございます。  |
| 0:54:49 | はい、規制庁のカイダです。  |
| 0:54:51 | そしたらですね 149 ページこれあの、このあたりの書きぶりっていうのは、以前いただいた参考資料のどっかのページにあった①から⑥を                    |
| 0:55:03 | 箇条書きについてまとめてあったかなと思うんですけれども、   |
| 0:55:07 | そっちの参考資料のほうで妥当多分①だったと思うんですけれども。  |
| 0:55:13 | 変動地形学的調査の結果なのか。  |
| 0:55:17 | ちょっと明瞭には読み取れないような形に東のほうに行くと。   |
| 0:55:23 | 低下してるという形で   |
| 0:55:27 | 何に基づけばっていうのが意見するちょっとわかりづらかったように思いましたので、変動地形学的調査の結果ということであればその参考資料のほうも、そこら辺は今手元がないので、 |
| 0:55:42 | 具体的なところはお示しできないんですけれども、そっちのほうも   |
| 0:55:47 | しっかり反映して読み取れるような形でしておいていただきたいのでお願いします。   |
| 0:55:56 | 中国電力の今村です。承知いたしました。参考資料のほうの確認をいたします。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:56:05 | いや、はい、じゃあ規制庁カイダです。  |
| 0:56:07 | あとですと東のほうの  |
| 0:56:14 | 当評価ということで今今回東のほうの評価をずっと区され、   |
| 0:56:19 | 示していただいたんですけども。   |
| 0:56:22 | 例えば 47 ページの項の変位地形リニアメント分布図というところで全体像が   |
| 0:56:30 | 出てるんですが、  |
| 0:56:32 | 今回東の女島のところと、  |
| 0:56:37 | 東のほうだとしもう秒から  |
| 0:56:40 | 福浦もしから  |
| 0:56:42 | 児童が昨日あたりまでこのまま東西の   |
| 0:56:46 | メインなルートみたいなところ。   |
| 0:56:50 | 主に示していただいたんですが、   |
| 0:56:53 | これ、例えば福原町とか長海町あたりの  |
| 0:56:58 | ところから枝分かれしているのがあるんですけども、  |
| 0:57:03 | これ文献でもこういった枝分かれ書いてあるのが幾つかって、これに関しての資料っていうのは、  |
| 0:57:12 | もう  |
| 0:57:16 | あれですかねこっちの。   |
| 0:57:19 | 補足資料のほうにしか特に入っていないという   |
| 0:57:24 | 認識でいいんですか。一応資料見ますと今回 252 ページで、  |
| 0:57:29 | そのあたりで 1 枚あって、  |
| 0:57:35 | 真ん中の上の段のところと 6m の位置 M-2 っていうのが一文書いてあるんですけども。  |
| 0:57:41 | これ以外に何か示してあるところがあれば、  |
| 0:57:46 | ちょっと教えていただきたいんですが、これも一応補足資料のほうに飛ぶという  |
| 0:57:51 | 今主力をせいということで、   |
| 0:57:53 | でしょうか。  |
| 0:57:56 | 中国電力の今村です。先ほどおっしゃっていただいたロック M1m につきましては、本編にこのページにしか載っておりませんで、補足説明資料のか八木さんの調査に調査位置が、 |
| 0:58:13 | ております。以上です。   |
| 0:58:18 | はい。そうということは補足資料のほうでいくと。   |
| 0:58:26 | 281 ページから   |
| 0:58:31 | このまま何ページかにわたっての部分がこの  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:58:35 | 名前は枕ぎ 3 つとは書いてあるけど、宍道断層のこの先ほどの枝分かれしている部分の評価ということで、   |
| 0:58:44 | かなと思いますので、   |
| 0:58:46 | わかりました。  |
| 0:58:49 | この部分だということでちょっと確認しました。   |
| 0:58:56 | はい。  |
| 0:58:58 | ちょっとあの敷地周辺につきまして私の方から確認したかったところ、以上です。  |
| 0:59:23 | 規制庁クマガエです。   |
| 0:59:25 | 敷地周辺が、   |
| 0:59:28 | 通り終わりましたので、続けて火山について確認していきたいと思います。   |
| 0:59:44 | 成長のカイダですと火山のほうでは先ほどご説明いただいた 80 ページのところに追記していただいたって黄色い箱書きのところですかね。  |
| 0:59:57 | この 3 名と同オーダーと同時期の欄は、   |
| 1:00:01 | 分布範囲と層圧を踏まえると、   |
| 1:00:04 | キヌの上回るものではないからそれは、   |
| 1:00:08 | 評価には、  |
| 1:00:09 | 載ってこないっていう説明がここに 1 分。  |
| 1:00:12 | 入っていたんですけども、   |
| 1:00:14 | これらの分布範囲層厚踏まえると、上回るものではないと考えられるっていうのは、   |
| 1:00:21 | 何に基づいてとかっていうのがここにはないとわかりづらいんですけども、これは文献調査よりとか、   |
| 1:00:30 | 調査結果をユリとか何かシミュレーションからとかなんか、  |
| 1:00:35 | その辺りの判断した根拠を入れていただきたいんですけども、これは  |
| 1:00:41 | 文献でしょうか。   |
| 1:00:48 | 15 ページのタナカです等、何に基づいてということでございまして、これは資料でいきますと、まず 53 ページをお願いしたいと思います。  |
| 1:01:04 | これ云々ってぐらいに関する調査結果ということでございますけれども、例えばですけども、一番東側のところで、   |
| 1:01:16 | 文献調査の結果の丸印を資料で示しました人ディーラー小さくて見づらいかもしれませんが 18cm というのは見えますこれは大体 3 名の給源から 50 キロぐらいのところだと思いますけども大体 3、50、50kg で大体 18cm ぐらいという感覚ですね。 |

|         |   |
|---------|---|
| 1:01:31 | そういったものとうちのテフラを比べてみますと相馬分布も先輩も育つも非常に小さいというふうに例えば 53 ページで読み取れるかと思っております。   |
| 1:01:41 | で、もう 1 点ですけれども、54 ページのほうお願いしたいと思います。  |
| 1:01:48 | あと 54 ページのこれも何度か御説明させていただいておりますけども、左側のほうにこの 3 秒ダウン数字の火山噴出物の構成を示しておりますけれども、これは須藤ほかの文献でいきますとこの時代の噴出量というのが大体 6.6 km立方メートルという           |
| 1:02:05 | 名立方メートルというふうに言われておりますけども、そのうちの火砕流堆積物がほぼ主体であって、赤色で書いている降下火砕物っていうのは非常にわずかであるということです。そのような解釈はこの 54 ページのそうですねと 2 ポツ目等にも記載させていただいておりますし、 |
| 1:02:23 | あとは、右側の絵とこれは町田新井の火山灰アトラスですけども、分布範囲につきましても火砕流堆積物として笠川れておりまして、文案としてのその何ていいですかね。降下火砕物としての分布範囲っていうのは示された文献掴まないというような状況でございます。           |
| 1:02:39 | そういった文献の調査結果でありましたり、ほぼ飽和ですね、あの文献の調査結果等を踏まえますと、云々テフラの分布範囲、そのお粗末っていうのは、機能を上回るものではないというふうに判断しておりますので、                                  |
| 1:02:55 | 旨がわかるような記載に適正化させていただければと思っております。以上です。   |
| 1:03:01 | はい、カイダです。今のおっしゃった点からの方よろしく申し上げます。   |
| 1:03:08 | 以上です。   |
| 1:04:40 | 規制庁クマガエですはい方についても確認ありがとうございました。   |
| 1:04:45 | それで、あと、   |
| 1:04:47 | 点検確認でしょ全般的に   |
| 1:04:50 | これ、資料の右上のところに、  |
| 1:04:53 | 修正したところは、加筆修正とか、  |
| 1:04:59 | 新規、新規のものは、  |
| 1:05:02 | 債権は再掲と書いていただいて新規のものは、   |
| 1:05:05 | 特に何も記載されてないような形に  |
| 1:05:08 | 整理されてる。   |
| 1:05:11 | ような形に今回整理されて全体的な資料分全部の分野についてそのような資料として、   |
| 1:05:16 | その確認をしていただいたんですが、一番最後の会合からどうなったのかどうかっていうのが、   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:05:21 | 記載されてるようになってるんでしょうか。ちょっとその確認だけお願いいたします。   |
| 1:05:29 | はい中国電力カシマです。来もおっしゃられた通り、一番最後の会合からの変更というの管理の考え方で記載させていただいております。以上です。   |
| 1:05:44 | 規制庁クマガエです。はい。   |
| 1:05:46 | 修正いただいたことがわかりましたのでございます。  |
| 1:09:38 | 規制庁の伊藤ですけれども、ネットに一番最初の3横の紙なんだけど。当調査を実施。   |
| 1:09:49 | とか書いて実施してどうなったのか何も入ってないんだけど。  |
| 1:11:00 | もしももしもすいません中国電力のカシマです。今おっしゃられた件ですね、午前中の安定解析のヒアリングの関係でもですね、同様の指摘をいただいております、切取  |
| 1:11:16 | あの地すべりのところですね表層滑りのところの切取について結果どうなったのかっていうところまでが書き切れておりませんでしたので、   |
| 1:11:25 | はい。   |
| 1:11:27 | いずれも敷地の地質調査広域地質ですね、海域地質調査も全部実施という形で今し、本資料の中に  |
| 1:11:37 | 主な変更概要ということで、サンリツにわたって記載しているところで、中の率のところまでしか書かれておりませんので、最終評価の部分も含めて実施した結果どうだったかというところですね、いずれも欠けていないところは反映させていただきたいと思っております。 |
| 1:11:54 | 以上です。   |
| 1:13:10 | 規制庁クマガエです。  |
| 1:13:12 | あと、   |
| 1:13:14 | 断層の名称のところなんですけれども、先週もちょっとお話あったかと思うんですが、F3F4。  |
| 1:13:21 | 負担、例えば、   |
| 1:13:24 | 敷地周辺のところとかですと、  |
| 1:13:27 | F3断層、F4断層及びF5断層とかっていう記載になってるんですけども。   |
| 1:13:35 | これ地震動のところでは、  |
| 1:13:39 | F3断層＋F4断層＋F5断層となってきたいなっていて、この辺まとめ資料の中ではですね、   |
| 1:13:47 | 一部統一していただいて反映したりとかしていただいていると思うんですけども。   |
| 1:13:51 | そういったこともですねこのA3の紙の方でもですね。   |
| 1:13:55 | 併せてまとめていただければと思います。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:13:59 | はい、中国電力カシマです。承知いたしました。   |
| 1:14:09 | この   |
| 1:14:11 | まとめ資料とかの今日ついさっきコメントした内容とかっていうのはなかなか反映できないかと思うんですけど、このA3の資料については、 |
| 1:14:20 | すぐ反映していただけるような形で会合資料にていただければと思うんですよ。それはできるでしょうか。                 |
| 1:14:28 | はい、中国電力カシマです。早急に修正いたします。以上です。                                    |
| 1:16:52 | 設置をクマガエです。はい。  |
| 1:16:54 | それでは、  |
| 1:16:57 | 時間も過ぎて参りましたので、   |
| 1:17:00 | いろいろ内容確認させていただきましたので、今日  |
| 1:17:05 | 3月なのかについてはですね、内容を反映していただいて、また資料を提出いただければと思います。                   |
| 1:17:15 | あと何かカシマです。承知しました。  |
| 1:17:21 | ではそのような形でお願いいたします。   |
| 1:17:26 | あと何か確認されたい点ありますか。  |
| 1:17:32 | 中国電力カシマです。特にございません。  |
| 1:17:37 | それでは、  |
| 1:17:38 | 本日のヒアリング資料したいと思います。ありがとうございました。                                  |
| 1:17:42 | ありがとうございました。   |